# 北海道・東北の

秋田県	伊藤孝志さん		卓球	6
福島県	出口武志さん		ソフトバレーボール	7
	金澤幸一さん		カローリング	8
札幌市	西川光子さん	2000	水泳	9
	工藤郁二さん	100 Po	水泳	10



### **卓 球** 「秋田県卓球協会」(監督兼選手)

いとうたかし

伊 藤 孝 志 さん 72歳

●参加歴:4回目

# 一致団結で勝ち上がった決勝はフルセットの大接戦!

昨年、ねんりんピック秋田 2017 の卓球競技は 横手市を会場に開催され、関係者のご尽力によ り大成功を収め、ホッと胸をなで下ろしたのも 束の間、今年のとやま大会への参加者が申込締 切ギリギリまで決まらず、本当に苦労しました。

いろいろ手を尽くし難産の末に産声を上げた チームは、昨年に勝るとも劣らない布陣に落ち 着き、秋田での雪辱を果たすべく「一致団結」「メ ダル獲得」を合言葉に切磋琢磨して臨むことに なりました。

富山市内や魚津市内からは、雪を頂いた3000m級の立山連峰の勇姿が、朝には朝陽を浴びて光り輝き、夕方には沈む夕日に赤く染まった逞しさを誇示し、歓迎をしてくれているようでした。

11月2日は時折小雨が交じる中、遠隔地・富山県まで終日移動日。

翌3日は好天の下、富山県総合運動公園陸上

競技場での総合開会式が盛大 に行われ、午後からは種目別 の会場(卓球は魚津市)へ移 動して監督会議・開始式。

試合は4日~5日の2日間の 日程で熱戦が繰り広げられま した。

試合の結果は、初日の第1次予選リーグで高知県に勝利したものの、茨城県に敗れ2位通過で第2次予選リーグを迎えることとなりました。

第2次予選リーグでは神奈 川県と長野県に完勝し、念願 の決勝トーナメント進出を果 たしました。

抽選により決勝トーナメントの初戦は神戸市と対戦し3-0で勝利、準決勝では広島県を3-1で下し、決勝にコマを進めることができました。

決勝の相手は優勝候補にもあげられた強豪・ 熊本県で、2-2の5番勝負にもつれ込む大接 戦。5番も一進一退のフルセットまで粘りまし たが、惜敗してしまいました。

予選リーグ・決勝トーナメントを通じて、各 県代表選手との対戦は厳しい場面が多々あり、 その都度ベンチの盛り上がりは「一致団結」そ のものでありました。

団体戦の醍醐味を楽しみながら、予選2位通 過とはいえ決勝トーナメント進出を果たし、銀 メダル(優秀賞)を獲得できたことはこの上な い喜びでした。



予選リーグで、茨城のチームと試合開始の挨拶。(向かって奥右端)



## ソフトバレーボール 「白河さくら」チーム (選手代表)

で ぐちたけ し

出口武志さん

66歳

● 参加歴:1回目

# 仲間との絆に支えられ、夫婦そろって再挑戦を!

「夢つなぐ 長寿のかがやき 富山から」をス ローガンに開催された、ねんりんピック富山 2018のソフトバレーボール福島県予選会は、福 島市国体記念体育館で5月24日に開催されま した。私たちはこれまで何度かこの大会にチャ レンジしてきましたが、今一歩のところで夢絶 たれてきました。今回、エントリーされたチー ム数は14チーム。2つのブロックに分かれて熱 戦が繰り広げられ、接戦の末、私たち「白河さ くら」が福島県の代表権を獲得することができ ました。メンバーとともに喜びを分かち合った ことが今でも鮮明に思い出されます。また、長 年胸に秘めていた夫婦そろって出場する夢がか なえられた瞬間でもあり、私にとっては特別な 優勝でした。ソフトバレーボール競技部門に限 らず、夫婦がスポーツに興味を持ち、同じ競技 を共通の目標として一緒に汗を流すことができ ることはすばらしいことと考えます。

11月3日、富山県総合運動公園陸上競技場に おいて総合開会式が行われましたが、入場行進

市部黒河 ねんりんピック窓山2018 歓迎 ソフトバレーボール交流大会 白河さくら

チーム全員の絆で戦い抜いた。(右から2人目)

時の演出、規模、催されたアトラクション等、 私にとっては想像を超えるものであり、生涯忘 れられない思い出となりました。ソフトバレー ボール交流大会は黒部市で開催され、初日の予 選リーグでは2位グループに入り健闘しました が、翌日の順位別リーグでは、全敗という結果 で、心残りのある大会となりました。

交流戦が終了した後、メンバー8名とともに 字奈月温泉に向かい、温泉でゆっくりと心と体 の疲れを癒し、温泉街を散策しながらお土産な どたくさん買い物をしたことが楽しい思い出と なっています。

大会を終えた今、私たちの戦いを振り返って みると、全国とのレベルの差は感じましたが、 大きく離されていないという思いを強く持ちま した。

「もう一度チャレンジ」。この気持ちを仲間と 持ち続けていくことができれば、再出場も可能 であると思います。 還暦から7年が過ぎた今、 私も高年齢期に入り、年々思うように動かなく

なる自分の身体を感じます。しかし、妻か ら「70歳になってもプレーができる現役で いよう」と激励を受け、これからもソフト バレーボールを楽しみ、汗を流していきた いと思っています。



得意のサーブで



### カローリング 「塙」チーム(監督兼選手)

かなざわこういち

金 澤 幸 一 さん

66歳

● 参加歴:1回目

# メンバーは80歳以上! 福島の応援を胸に健闘

ねんりんピック富山 2018 で初めての開催と なったカローリング競技。カローリングは子供 から高齢者まで年齢、性別、体力に関係なく参 加できるコミュニケーションスポーツで、イニ ング毎の最終で逆転のあるスリル溢れるスポー ツです。しかし、競技人口が少なく、ねんりんピッ クを通して競技者を増やしたいとの思いを選手 全員が持っていたと思います。

我がチームはねんりんピック予選会でもある 第12回福島県カローリング大会に出場し、第3 位。悔しい思いをしましたが、数日後、対象チー ムに出場資格がなく、私たちにねんりんピック に出てほしいと連絡がありました。私以外は80 歳を超える高齢者チームですが、メンバーに相 談するとふたつ返事で出場できるとの事。即答 に感謝し、参加を決意しました。福島県選手団 に合流すると、移動の方法、食事、宿泊先等の 全ての資料がそろっていて不安が解消されまし た。段取りしてくださった県の事務局に大変感 謝しました。

総合開会式はメンバーの体力面の心配をし ながら行進に参加しましたが、整然とした進行 やアトラクションの素晴らしさに時間を感じな いほどでした。さらに入善町でのカローリング 開始式では、町一丸となって大会を運営する姿 に感謝。メンバーが大会最高齢者賞を受賞し たことに喜びもありましたし、心配だった体調 面は全く問題なく、楽しく参加できました。夕 食では、地元の美味しい料理をいただき、2 日目も無事終了。そして3日目、大会の初戦は 地元富山県のチームでした。会場には富山の 大応援団がいたため、私たちは福島県の代表 であることや、福島県カローリング協会会長等 から応援いただいたことなど、いろいろな思い がめぐるなか、声を掛け合うことも少なく、敗 退してしまいました。2回戦、愛知県のチーム との対戦では声掛けや指示出しができるように なり、14点とまずまずの得点で勝利できまし た。成績は54チーム中22位でしたが、楽しく 参加できたのがいちばんでした。監督兼選手 で出場した私ですが、ゲームの状況やチーム の雰囲気をもっと把握すべきという課題も見え、 再度挑戦したいと思います。

サポートしていただいた県老人クラブ連合会 の皆さん、富山大会役員の皆様、入善町の皆様、 福島県カローリング協会会長、そして、送り出

> してくださった塙 町及びはなわス ポーツクラブに感 謝申しあげます。



総合開会式会場にて、入場行進前。(右端)



試合前練習でジェットローラを



水泳

クロール 25m、背泳ぎ 50m 「札幌市選手団」 混合リレー 100m

にしかわみつ こ

西川光子さん

68 歳

●参加歴:2回目

## 大会で広がる輪を大切に、目指せ 100 歳スイマー!

ねんりんピックの開会式が行われた富山県総 合運動公園陸上競技場の観覧席から見えた立山 連峰は壮大でした。今まで見たことのないとて も高い山並みで、圧倒されると同時に静かなる 山に心を癒される感覚でした。

開会式はお天気も良く、11月なのに気温は 20 度。過ごしやすい気候でした。札幌から参加 した私たちは、寒さ対策をたくさんしてきまし たが、無用の長物となりました。

選手入場はとても高揚感に満ちていました。 ねんりんピックは想像以上の規模で行われま す。参加して初めて知りました。全国から1万 人が集結しています。テレビなどで見るオリン ピック開会式と図式は一緒ですが、違うのは選 手が60歳以上の高齢者であることです。この ような体験ができ、とても誇らしく感じました。

翌日から競技が始まりました。私は第1日目

プール会場の応援席でメンバーと。(前列中央)

の水泳種目、プログラム番号1、50 m背泳ぎの 4組目に出場しました。札幌ではトップバッター で、緊張感を持ちながらもチームメイトの声援 を受け、思い切りプールに跳びこみました。結 果はメダルには到達できませんでしたが、いつ もの大会と変わらないタイムで、自分の実力は 出せたと思います。

私は札幌市のウェルネスクラブで水泳の練習 をしています。スイムトレーニングというプロ グラムに参加し、そこでいろいろと指導を受け ます。今回ウェルネスクラブのTシャツを着て いましたら、「私もどこどこの何店の会員です」 と声をかけてくれる方たちがたくさんいて、お 互いのお店の情報交換などをしました。

北海道胆振東部地震の影響で合同練習がで きなかったため、札幌市の水泳チームでも初対 面の方々が多くおられました。北海道で同じ競 技大会に出場していたのでしょうが、所属する チームや練習する場所が違いますから、お名前 すら知りませんでした。しかし、これからは水 泳仲間の輪が広がりそうです。大会に参加して 交流を深めるのがとても楽しみになりました。 それ以上に自分も健康に留意して『目指せ100 歳スイマー』と思っています。





# 水泳

平泳ぎ 25m・50m 「札幌市選手団」 混合リレー 100m

く どうゆう じ

工藤郁二さん

61 歳

● 参加歴:1回目

# 祖父の歴史を感じる富山で、練習の成果を発揮

ねんりんピックの声がかかった時、11月4日 ~5日に富山で開催すると知りました。富山と 言えば、私の祖父の生まれ故郷。明治の時代、 祖父が幼い頃に新天地を求めて家族と北海道に 渡ってきたと、生前話していたのを覚えていま す。

私は今まで一度も富山に行ったことがなく、 ぜひ参加したいと思いましたし、ねんりんピッ クについても以前から一度は参加してみたいと 思っていました。以上のことからスケジュール の確認を行い、積極的に申し込みましたが、実 際参加してみると期待以上のものが数多くあり ました。

1つ目は、初日に宿泊したところでの紅葉で す。11月の時期に、北海道では観賞できなくなっ た紅葉を見たときは、異国に来たのだなという 思いで感動しました。

2つ目は、全国から集まった1万人の選手団 が入場した開会式です。全日本大会に自分が 参加しているという、気持ちの高揚感が心地よ かったです。

3つ目は、食べ物です。山のものあり海のも

のあり、おいしいものをいただき満足感でいっ ぱいでした。特に鱒ずしは腹が破裂しそうな程 食べました。

4つ目は、越中売薬の歴史です。「廣貫堂資 料館」では昔懐かしい薬袋を見ることができま した。また、実は富山生まれの祖父は昭和30 年代に富山から時々、薬を大量に取り寄せて道 南地方で行商をしていたため、祖父の商売用の 薬箱で見た「孫太郎虫(まごたろうむし)」とい う漢方薬を探しながら展示品を見ていたのです が、とうとう「薬種商の館 金岡邸」で見つけて、 とても感慨深い気持ちになりました。

最後の5つ目は競技の成績です。札幌市から は長年水泳の練習を継続してきた8人の選手が 出場しましたが、全員で力を合わせた混合メド レーリレーは、平均年齢70歳以下の部では20 位、平均年齢70歳以上の部では16位でした。 全国各地区代表の選手たちの中にあって、りっ ぱな成績だったと思いますし、充実感を得るこ とができました。

本大会開催にあたり、これらの多くの感動や 思い出を与えてくださった大会関係機関や大会

> スタッフの皆様方、そして水泳を これからも継続し、「再度出場した いね」と言いあった選手の皆には 感謝を申し上げたいと思います。



水泳を通じで繋がった札幌チームの8人。(左端)



スタートが決め手! (手前から2人目)